

環境・ものづくりの芽を育てる NPOとの協働による環境授業

エネルギーをつくりだす「創エネ」の太陽光発電とともに、技術力を駆使した環境性能の高い製品の開発・普及に取り組みシャープ株式会社。今年、2012年に創業100周年を迎える同社は、「エコ・ポジティブ・カンパニー」という企業ビジョンを掲げ、環境問題に取り組んできました。

「製造業として、事業の中で環境への負荷は必ずかかってきます。我が社が強みとする省エネ製品や太陽光発電といったものづくりを通じて、環境への負荷を大きく上回るような環境への貢献をしていきたいです」と話すのは、CSR推進本部社会貢献推進グループチーフの阪井嘉英さん。

また、同社は本業だけでなく、

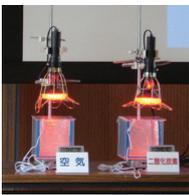
く、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。その活動の一つとして、06年からNPO法人気象キャスターネットワーク（※）と協働で実施する小学校での環境教育があります。「地球温暖化と新エネルギー／リサイクル」をテーマとして、気象キャスターが科学的なデータを使い地球温暖化の授業を行い、それを解決するための新エネ

ルギーやリサイクルについて、シャープの社員がエコナビゲーターとなり、太陽光発電の原料を見せたり、太陽電池の実験などを通して解説したりします。

このような環境教育の授業は年間500校で実施され、これまでの累計は2500校を超えました。08年からは、アメリカや中国をはじめとした海外にも活動を広げています。

トワーク理事長の藤森涼子さんは話します。

地球温暖化の授業では、二酸化炭素と空気を温め、温度差を比較して、温暖化の仕組みを理解する



環境授業では現場の社員がエコナビゲーターとして講師を務める

「環境授業をより多くの小学校に広げたいと思っても、NPOだけではなかなかできません。シャープさんと協働することで、私たちの活動も広がりました」と、気象キャスターネットワーク

「私たちも気象や温暖化に関するNPOの専門的な知識・見識を勉強させてもらっています。子どもたちにとっては環境を学ぶだけでなく、理科に興味を持つたり、気象キャスターや当社の社員の仕事に触れ、自分の将来の仕事を考えるきっかけになったりもしているようです。

ものづくり企業としては、この授業を通して、理科好きの子どもが増えて、ものづくりを担う理系人材がより多く育ってくれればうれしいです」（阪井さん）



実物の太陽光パネルを使って発電の仕組みを実験

シャープ株式会社
〒545-8522 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
URL ▶ <http://www.sharp.co.jp/>

* NPO法人気象キャスターネットワーク：テレビやラジオで活躍する気象キャスター・気象予報士が気象・環境・防災教育に取り組むNPO。2004～06年地球環境基金助成団体。